

## 令和2年度第1回船橋市文化財審議会（書面開催）の各委員の所見

報告事項（1）～（4）について、全文化財審議会委員に確認をいただいた。

下記に各委員の所見の概要を記載しております。

### 岡崎委員

事務局並びに委員の方にそれぞれの立場で、今後の文化財指定について、それぞれの専門分野の立場でどういった条件の文化財が指定となるか、考えていただけないか。

専門分野ごとに指定の条件は異なりますが、各専門の立場から考えてある程度の文化財指定する基準を文化財審議会委員で共有する材料を揃えておく必要もあるのではないのでしょうか。

### 吉武委員

取掛西貝塚の調査が進み、調査成果により、縄文時代の人々が何を食べて、どのような生活をしていたのか。具体的にイメージできるものがあるとよいです。

安川家文書のその後はどうなっていますか。

### 柴田委員

意見なし。

### 金出委員

二宮神社社殿について、建物全体に及ぶ将来的な修理を念頭に置いた対策と経過の観察の継続をしていただきたい。

今年度は講師派遣や講座の開催の回数が限られてしまうこととなりますが、昨年度実施時に対象となった学校や団体に対しても、今後継続して研究成果を伝えられる機会が得られることを期待したい。

玉川旅館の解体前及び解体中の現地調査を担当し、近代和風建築の技法と形式が頂点に達する昭和初期の特徴がよく現れている建築群であることが確認できました。この点が注目されがちですが、玉川旅館が100年にわたり地元で親しまれてきた歴史、経営者によるもてなしの精神、人々との関わりを伝えることが、今回作成される一連の記録のなかで重きを置きたい点です。

## 湯浅委員

意見なし。

## 菅根委員

文化財保護・調査及び普及事業につき、了解しました。コロナ禍の中、大変だと思いますが、取掛西貝塚をはじめ、特に普及事業に力を入れておられる点が大事だと思います。

玉川旅館については、一部移築は無理なのでしょうか。できれば太宰治ゆかりの部屋だけでもと思うのですが、館内調度品・記録類・一部部材の寄贈に期待します。

## 青木委員

意見なし。

## 阿部委員

意見なし。

## 藤井委員

資料の11ページ、(2)令和2年度文化財保護・調査・普及事業の計画について(1)文化財保護・調査の⑥下野牧二和野馬土手で「年2回草刈・樹木の半剪定を実施し……」とありますが、半剪定とはどのような剪定でしょうか。野馬土手の保護で樹木の扱いは難しいことですが、適切な管理をしないと樹木が腐朽し、枯枝や枯死につながりますし、樹木がなくなれば土手の浸蝕も懸念されます。